

ワークショップ 22	
タイトル	精神科救急患者の初期対応～PEEC (Psychiatric Evaluation in Emergency Care) コースの紹介～
日時	6月13日(土) 16:20-18:40
企画責任者	金井 貴夫 (公募企画)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>PEEC コースは、日本臨床救急医学会、日本精神救急学会、日本総合病院精神医学会が共催し、NPO 法人 PEEC 研究機構が主催している精神科救急患者に対する対応を学ぶコースであり、厚生労働省などが後援している。</p> <p>本ワークショップは、全国で開催されている PEEC コースを本学会の皆様を紹介し、地域医療、特に救急対応で頻繁に困難に直面することの多い精神科救急に関して、問題点の把握、初期診療の実際、問題の解決法を一通り学び、精神科医不在の状況(少なくとも翌朝まで)において、精神症状を呈する患者に対する安全かつ安心な初期診療ができるようになることを目的とする。</p>	
<p>【概要】</p> <p>本ワークショップでは、PEEC に関する簡単な解説の後、グループワーク形式で、自己紹介、自施設およびその地域の特性・問題点などについて議論し、講義、演習を行っていく。最終的に以下のことを行動目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 診療中の患者の安全、医療者側の安全を確保する方法がわかる。2. 症状に応じた薬剤の選択、投与方法、副反応への対応がわかる。3. 外来帰宅か、入院加療かを正しく判断できる。4. 自殺企図患者に対し、再企図を予防しつつ安全な入院管理ができる。5. 違法薬剤の使用、薬物依存への法的問題に正しく対処できる。6. 安全に外来フォローアップへの道筋をつけることができる。7. 自死遺族への具体的な援助の方法を知る。8. 自施設での問題点とその解決方法について考察できる。 <p>PEEC コースは、国立精神・神経医療研究センター等が実施する『身体疾患患者へのメンタルヘルスケアモデル開発ナショナルプロジェクト』と連動しており、今後、本ワークショップ受講者が、PEEC コースの受講、コース開催のためのファシリテーターを経て、多方面でダイナミックに連携していくことも可能である。</p>	